

「電動車いす」について



スズキ株式会社

1. 電動車いすとは

電動車いすは歩行者扱い

交通ルールは歩行者と同じ
歩行者と同じ速度で歩道と調和

- 歩道、横断歩道を通行する。
- 歩道のない道路では右側通行
- 歩行者用信号に従う。

時速6km/h

1. 電動車いすとは

電動車いすの法律

道路交通法 施行規則第1条の4第1項

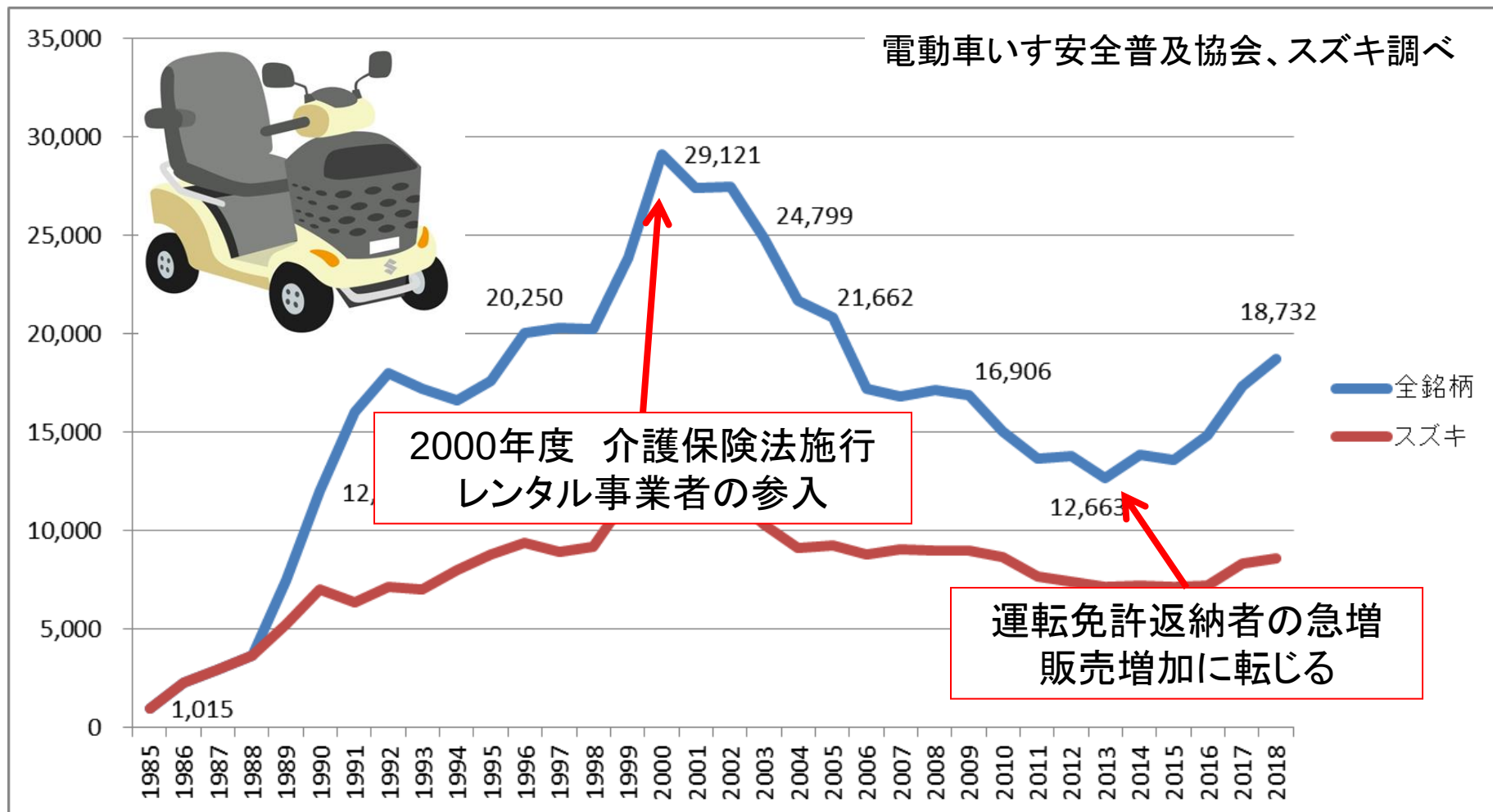
- ・ 車体の大きさ
 - 長さ： 120cm
 - 幅： 70cm
 - 高さ： 120cm
- ・ 最高速度 6km/h以下

国の型式認定制度がある

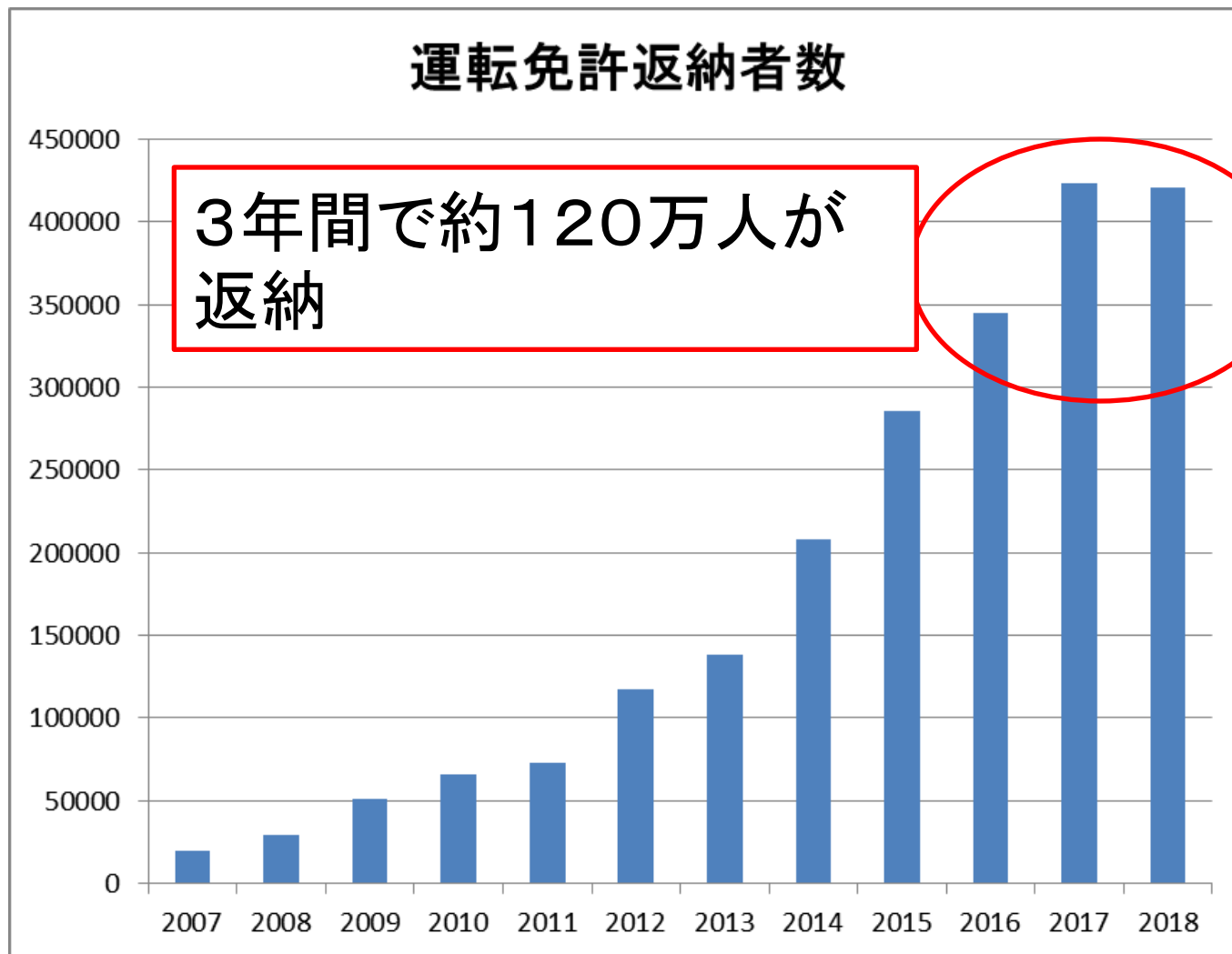


2.国内市場の状況

ハンドル形電動車いすの出荷台数推移



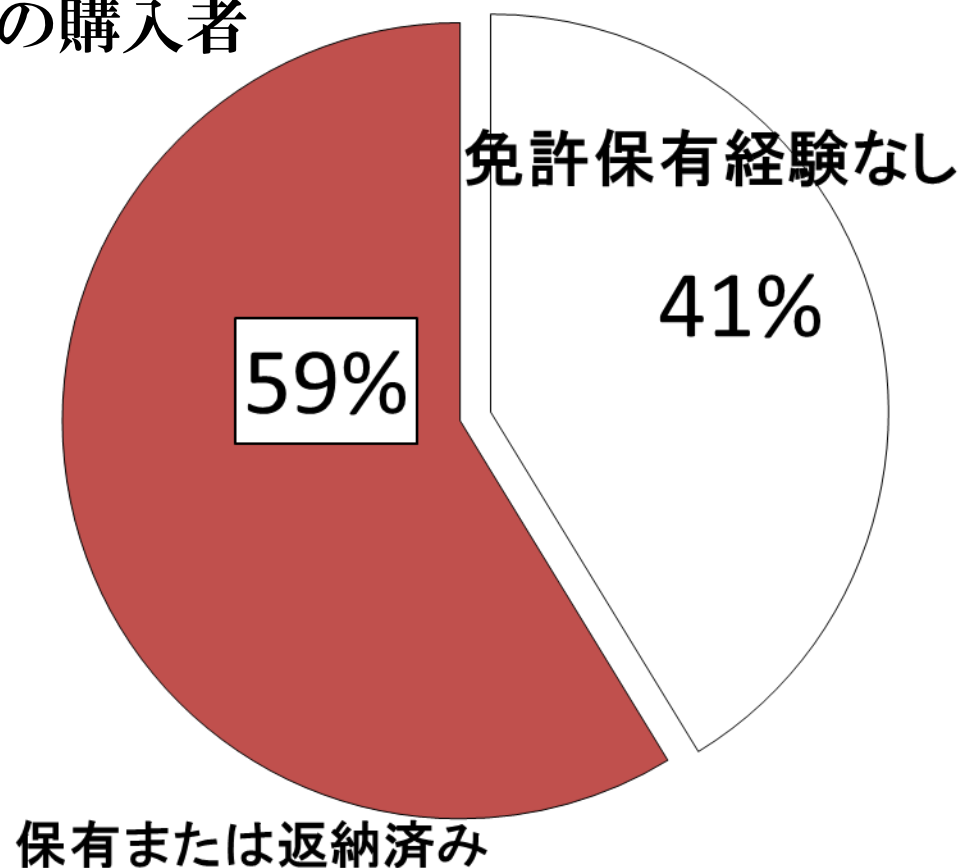
運転免許証返納者数推移



出典:警察庁 運転免許統計

スズキセニアカー購入者と 運転免許保有の関係

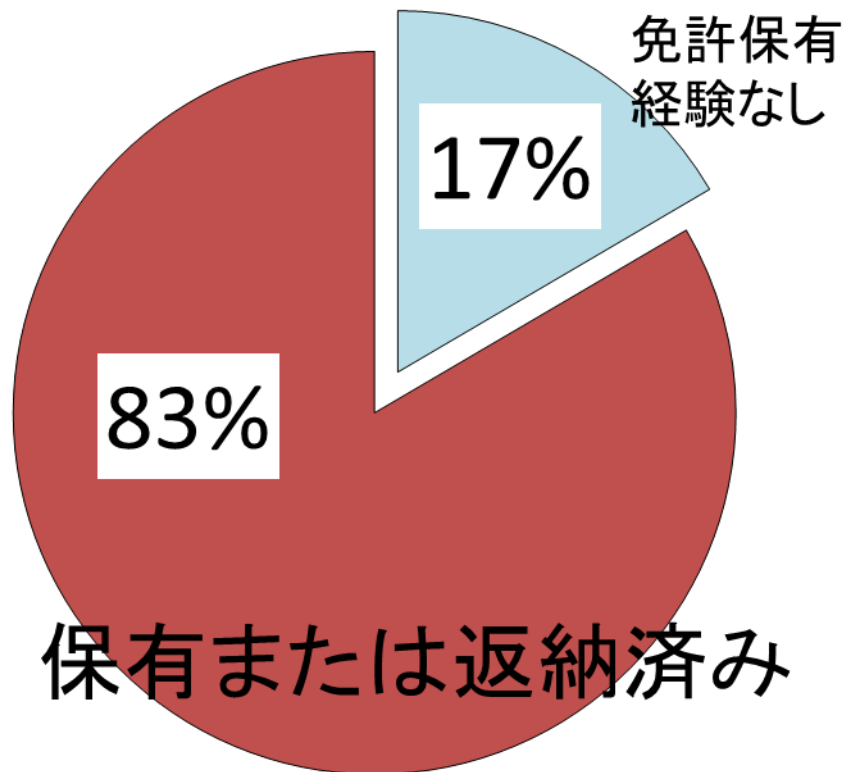
2015年頃までの購入者



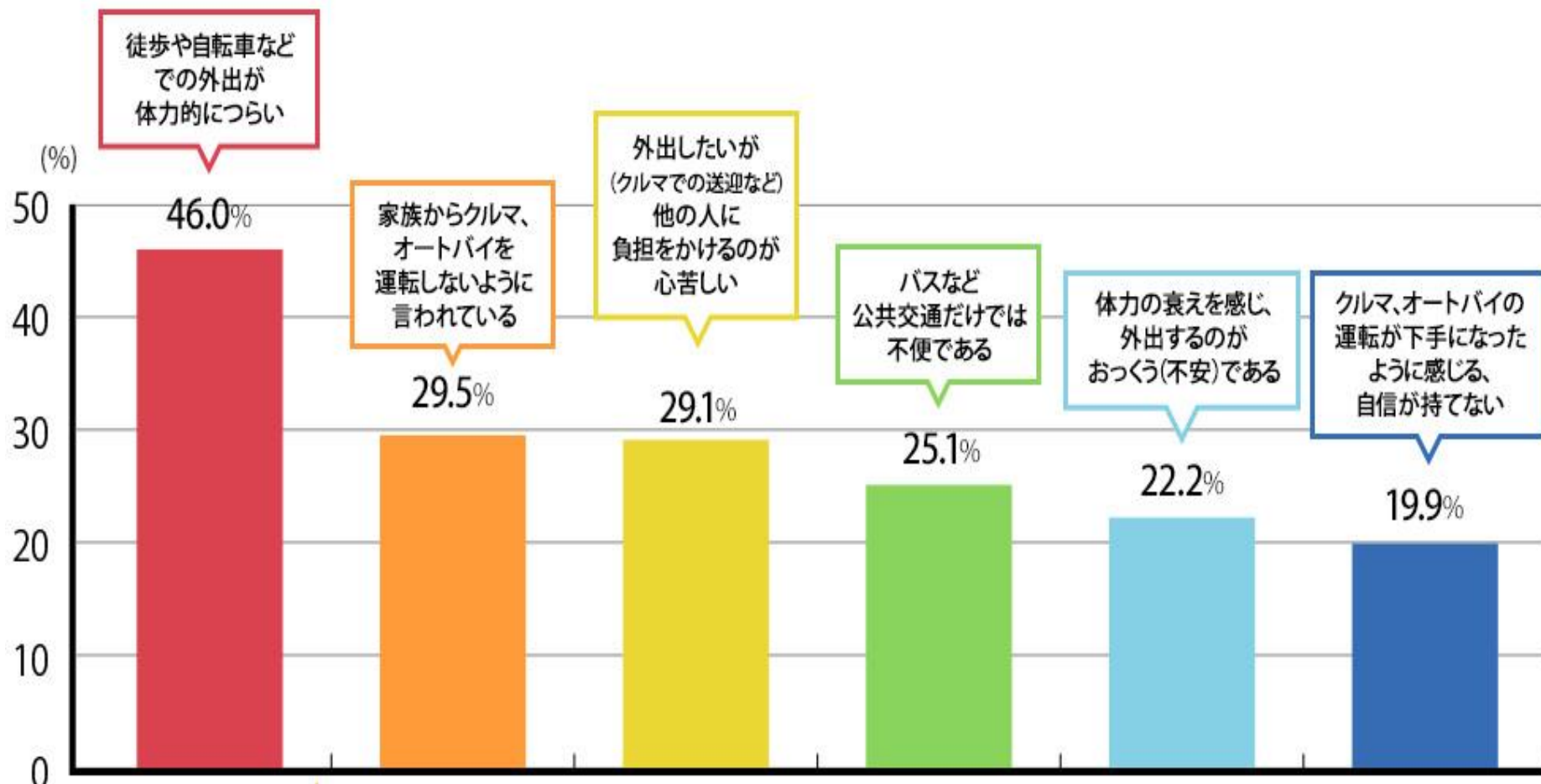
スズキ調べ

スズキセニアカー購入者と 運転免許保有の関係

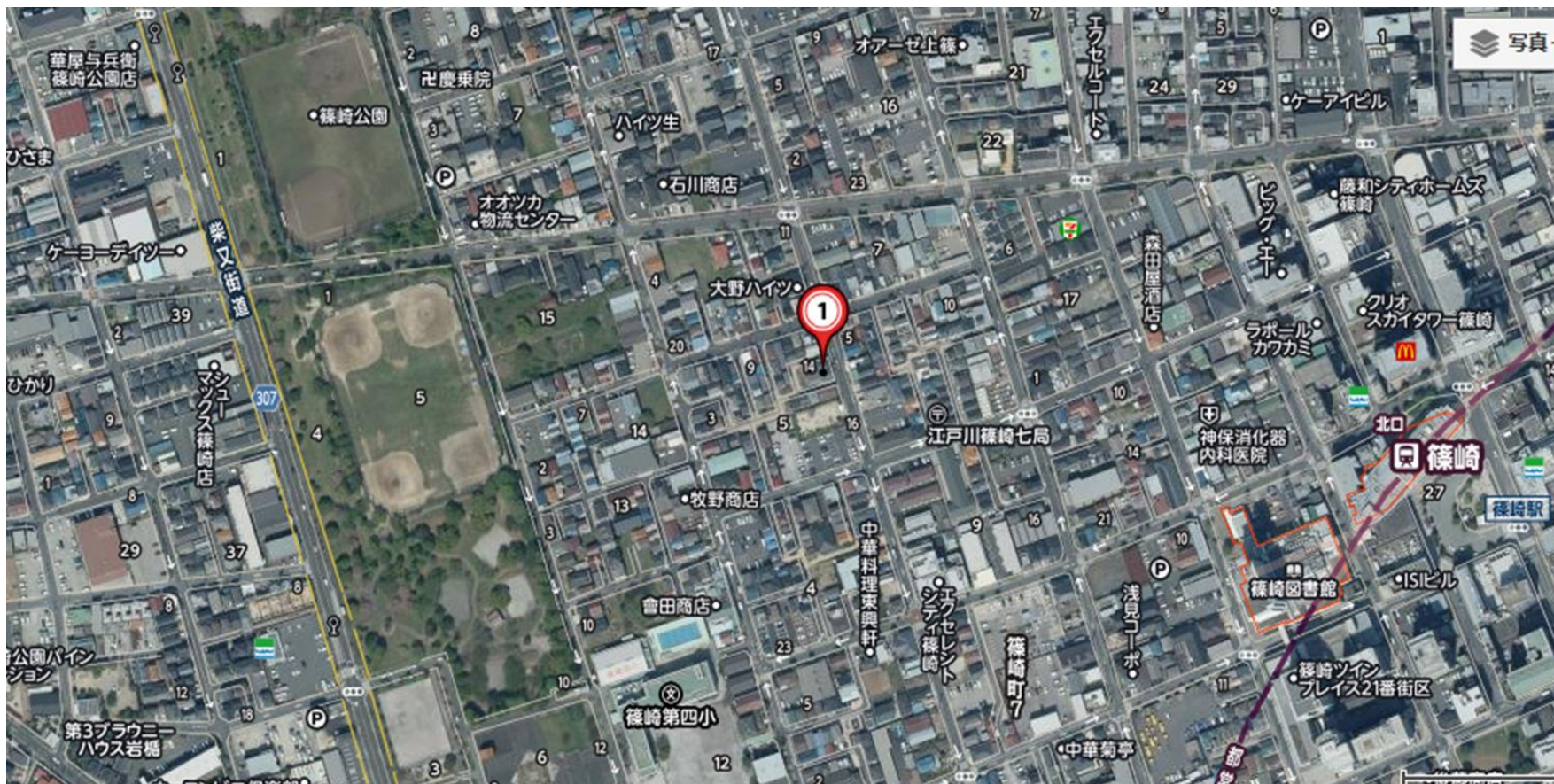
- 2016年以降の購入者



セニカーを購入する前の悩み



使用環境(都市部の例)



購入者の満足度は高い



継続して利用する
ことを希望する

96.9%

スズキセニアカーお客様調査 2018年1月現在、スズキ調べ。

3-1.普及のために 告知活動を推進する

- 購入後の満足度は高いのに普及が進まない



- 免許返納後の安心で便利な移動手段であることを告知する必要がある。
- 高齢者だけでなく、子・孫世代にも告知。

3-2.普及のために 安全であること

- ・安全に利用するための、諸施策を推進している。

【製品安全】

- ・国家公安員会の型式認定を取得
- ・ハンドル形電動車椅子のJIS T-9208に適合

【販売時】

- ・対面販売により、利用前の試乗と操作指導の推進。
- ・チェックシートを用い運転適性等を確認。
- ・安全啓発冊子を配布。

【一般の方対象：安全運転講習会】

各地の警察署、自治体の等が主催する 交通安全講習会に協力

2002年4月～2019年9月の期間

延べ約1,600回約75,000人が参加（スズキグループ合計）



2019年10月4日 長野県須坂市役所主催「シニア連健康体育祭」で開催

3-3.普及のために 使用環境の整備(歩道)



望ましい歩道

3-3.普及のために 使用環境の整備(歩道)



歩道がなく交通量が多い

3-3.普及のために 使用環境の整備(歩道)



通行の障害物

3-3.普及のために 使用環境の整備(歩道)



段差乗越えが
ひんぱん

3-4. 普及のために

使用環境の整備（置き場所）

- 移動先での**置き場所**の確保
（店先に置く、バス停に置ける、等）
- 移動先での**充電場所**の確保
（100V家庭用コンセントがあればOK）

スズキ電動車いす製品

ハンドル形



ET4D 368,000円



ET4E 308,000円



タウンカート
378,000円

ジョイスティック形



MC3000S
420,000円

ありがとう
ございました。